

沼高図書だより

令和4年7月1日
広島市立沼田高等学校
図書委員会

公約実現に意欲

新図書委員長にインタビュー

文化祭も終わり、新しい図書委員長に2年4組の宗田桃佳さんが就任した。委員長としてどのようなことを力を入れていきたいか、話を聞いた。

―任期中に達成したいことは何ですか？
「私は、公約として本の貸出期間の延長を掲げていました。先生方とも話し合い、その公約を実現することが一番の仕事だと思っています。また今

―委員長のお好きな一冊は？
「湊（みなと）かなえの『告白』という小説は衝撃的でしたね。『愛美は死にました。しかし事故ではありませ

―この本を選んだ理由は？
「私はこの本を高校生の時に読みました。サッカーが上手くなるためには、もちろん勉強も必要だけれど、逆算する力や自己管理能力が大切だということを知ることができました。人生の色んな



新しい図書委員長の宗田さん（2年4組）

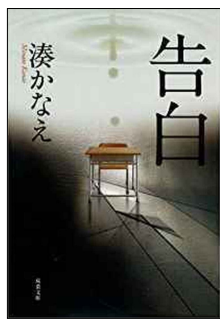
―この本を選んだ理由は？
「私はこの本を高校生の時に読みました。サッカーが上手くなるためには、もちろん勉強も必要だけれど、逆算する力や自己管理能力が大切だということを知ることができました。人生の色んな

本棚の宝物

このコーナーでは、先生方にとって思い入れのある一冊を紹介させていただきます。今回は保健体育科の大橋翔先生にお話を伺いました。
―先生にとって思い入れのある一冊は何ですか？
篠幸彦（しのゆきひこ）さんの『高校サッカーは頭脳が9割』という本です。
―どんな本ですか？

高校が勝つにはどうすればいいのか、強者に勝つためのヒントが詰まった本です。

もしれません。しかし読み進めていくと、我が子を殺された教師、加害者の生徒、そのクラスメイト、家族、いろいろな人の愛憎渦巻く感情を感じることが出来ます。自分の価値観が少し揺らぐほど、いろいろと考えさせられた本です。エンターテインメントとして一級の本ですから、ぜひみなさんも手に取って読んでみてくださいませ。」
―最後に、沼高生へメッセージをお願いします。
「本を読むのは、まず何よりもわくわくして楽しいものです。それだけでも十分なのですが、さらに自分の視野をより広く・深くすることが出来ます。今のところ、図書室を利用している人は少ないと感じます。入れてほしい本をどんどんリクエストして、皆さんの生活の中に本を取り入れてほしいと思います。」
―ありがとうございます。



委員長イチオシの『告白』

図書室の利用状況

6月の貸し出しは1年生が6冊、2年生が5冊、3年生が9冊だった。

年間を通じて最も図書室を利用して本を借りた生徒（最低冊数あり）には、校長先生からステキなプレゼントが贈られるらしい。どんどん図書室を利用しよう。

だから私はこの本が好き

図書委員のブックレビュー

今回紹介する本は、青山美智子（あおやまみちこ）の『木曜日にはココアを』。心をリラックスさせ、ほっこりさせてくれる短編集です。初めて子供の弁当を作るキャリアウーマン、幼稚園で働く新米先生、サンドイッチ屋を開業した元銀行員など、人知れず頑張っている人を応援する12編のストーリー。ある話の登場人物が次の話の主人公に・・・と、次々に話が繋がっていくところが魅力です。最近疲れたり辛いことがあった人にもオススメです。あなたも小さな喫茶店マーブル・カフェの不思議な魅力に触れて、優しい気持ちになってみませんか？
(レビューアー 黒瀬巧真)



新着本紹介

新刊ではなくとも、図書室には定期的に入荷する。今回で紹介する「1日10分のごほうび」という本は、NHK WORLD JAPANのラジオ番組で世界17言語に翻訳して朗読された小説のなかから、人気作家8名の作品を収録した名作小説のアンソロジーとなっている。

亡き妻のレシピ帳をもとに料理を始めた夫の話、対照的な人生を過ごす女友達からの意外なプレゼントの話など、短いけれどひとつとする物語がたくさん詰まっている。寝る前の10分などで読めば、題名通り気持ちの褒美がもらえるかも。しばらくは、新刊本のコーナーに置いてある。

ほんのトリビア

ここでは、本にまつわるちょっとしたトリビア（豆知識）を紹介します。

- みなさんは、日本の文学作品が海外で出版されるときタイトルがどうなるか、ご存じですか？例えば・・・
- ① I am a Cat
- ② No Longer Human
- ③ PILLOW BOOK
- ④ The Inch High Samurai
- ⑤ The Moon over the Mountain

誰もが聞いたことがあるタイトルだと思えます。答えは左下の「編集後記」で。



読書百遍

図書館の歴史は古く、紀元前七世紀には粘土板の図書館があったと言われている。かつては少数の人間が、研究のために利用するものだったが、今は誰でも図書館を利用することができ、全国には3300を超える図書館があるとされる▼図書館の利用の仕方としておすすめなのは「ふらふら歩き」だ。分類してある本の棚をなんとなく歩き、気になったタイトルの本をその場で開き読んでみる。気に入れば借りればよいし、興味があれば棚に戻せばいい。書店よりも気軽だし、まして電子書籍ではこうはいかない▼もう一つ、図書館の大きな魅力はその静寂さだ。沼田高校にも図書室があるが、学校の中で最も音が少ない場所かもしれない。静かに勉強がしたい人にはもちろん、にぎやかさに疲れた人にも心地よい空間だろう▼まだ来たことがない人は、ぜひ一度足を運んでみてほしい。スマホの滑らかな画面もいいが、本の表紙の手触りやページを捲る音、インクの匂いもまた良いものだ。今までにない新鮮な「出会い」がそこにあるかもしれない。（大木ころも）

編集後記

「ほんのトリビア」の答え。
①我が輩は猫である、②人間失格、③枕草子、④一寸法師、⑤山月記、でした。どれくらい解きましたか？